

6月

新着図書

ありか

著者名:瀬尾 まいこ
 出版者:水鈴社



愛はここにある。幸せはここにいる。「これまでの私の人生を全部込めたとはい切れる作品を描きました」——瀬尾まいこ母親との関係に悩みながらも、一人娘のひかりを慈しみ育てる、シングルマザーの美空。義弟で同性のことが好きな颯斗は、兄と美空が離婚した後、何かと二人の世話を焼こうとするが——。「子育てをしながら自分が受けた恩を思い知って、親に感謝していくのだと思っていた。それが親になった途端、さっぱりわからなくなった。この日々はどこに恩を感じさせるべきところがあるのだろうか」(本文より)

さよならジャバウオック

著者名:伊坂 幸太郎
 出版者:双葉社

結婚直後の妊娠と夫の転勤。その頃から夫は別人のように冷たくなった。彼からの暴言にも耐え、息子を育ててきたが、ついに暴力をふるわれた。そして今、自宅マンションの浴室で夫が倒れている。夫は死んだ、死んでいる。私が殺したのだ。もうそろそろ息子の翔が幼稚園から帰ってくるというのに…。途方に暮れていたところ、2週間前に近所でばったり会った大学時代のサークルの後輩・桂凍朗が訪ねてきた。「量子さん、問題が起きていますよね? 中に入れてください」と。

PRIZE

著者名:村山 由佳
 出版者:文藝春秋



天羽カインは憤怒の炎に燃えていた。本を出せばベストセラー、映像化作品多数、本屋大賞にも輝いた。それなのに、直木賞が獲れない。文壇から正当に評価されない。私の、何が駄目なの?…何としてでも認めさせてやる。全身全霊を注ぎ込んで、絶対に。業界震撼の“作家”小説!

動物のひみつ

著者名:アシュリー・ウォード
 出版者:ダイヤモンド社



ネズミは水に濡れた仲間を助けるために出かけるし、シロアリは女王のためには自爆をいとわない。カケスは雛を育てるために集団で保育園を運営し、ゾウは亡くなった家族の死を悼む。あまりよくない面をいえば、バッタは危機的な飢餓状況になると仲間に襲いかかり、動物園の器具を壊したゴリラは怒られるのが嫌で犯人は同居している猫だと示す…といったように、どこか私たちの姿を見ているようだ。アフリカから南極まで世界中を旅する著者が、動物たちのさまざまな生態とその背景にある「社会性」に迫りながら、彼らの知られざる行動の数々を紹介。

エピクロス処方箋

著者名:夏川 草介
 出版者:水鈴社



「君はここまで来るために、何人の患者を死なせてきた?」大学病院で数々の難手術を成功させ、将来を嘱望されながらも、母を亡くし一人になった甥のために地域病院で働く内科医の雄町哲郎。ある日、哲郎の力量に惚れ込む大学准教授の花垣から、難しい症例が持ち込まれた。患者は82歳の老人。それは、かつて哲郎が激怒させた大学院の絶対権力者、飛良泉寅彦教授の父親だった。「医療では、人は救えないんだよ」治せない病は山のようにあるが、癒せない哀しみはない。思想する医師・雄町哲郎は今日も京都の街をゆく。

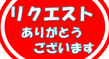
熟柿

著者名:佐藤 正午
 出版者:KADOKAWA

息子の顔見たさに何かひとつ事を起こせばそのたびにパトカーがやってくる。わたしはこれまで三回パトカーに乗った。そのことが繰り返される。それがわたしの人生になる。わたしはパトカーに乗り慣れた老人になどなりたくないし、そんな母親の姿を息子に見せたくもなかった。そんな母親が自分の産みの母親だと知られるべきではなかった。人生を踏み外した女性の静かな決意。

旅の短篇集 春夏

著者名:原田 宗典
 出版者:角川書店



ロンドンの自然博物館にある恐竜の前でじっと息を殺していると恐竜が話し掛けてくる。そんな話を友人から聞いた「私」はそのイグアドン標本を訪ねるが、何の物音も聞こえない。がっかりしてホテルに帰ると、フロントに謎の伝言が…。(「イグアドンからの伝言」より)ロンドン、ボストン、イスタンブール、世界のあらゆる都市へ、原田宗典が空想の旅にいざなう幻想的で不可思議な物語。

地図でスツと頭に入る中東&イスラム30の国と地域

著者名:高橋 和夫
 出版者:昭文社

なぜこのエリアは“世界の火薬庫”と呼ばれるのか!? イラストでわかる! 「中東」&「イスラム」30の国と地域。アラブVSイスラエルVSペルシャ“流血の抗争史”欧州の権謀術数が炸裂! 「平和主義」イスラム文化圏の蹉跌、大富豪から貧民窟まで天然資源王国・中東の光と影

6月

新着図書

大河の一滴 最終章

著者名:五木 寛之
 出版者:幻冬舎

常に、再生の希望はある。少年時代の引揚体験、自死への欲求、思いがけない病の宣告…。あえて、大河の流れに逆らうことを決意した、告白的人間論。

君の火がゆらめいている

著者名:落合 由佳
 出版者:講談社

課題図書中学校の部

葉澄には、自閉症をもつ双子の姉・菜々実がいる。「きょうだいだから、菜々実が困っていたら助ける」—大きくなるにつれ、家族を思う気持ちと自分の気持ちとの板挟みになっていた葉澄は、きょうだい児が集まるという「きょうだい会」に出会い…。もしわたしが、きょうだいと別の道を行きたいと言ったら、どうなるんだろう。

宇宙でウンチ みんなの知らない宇宙トイレのひみつ

著者名:A. ボンドー＝ストーン、C. ホワイト
 出版者:あすなる書房

課題図書中学年

宇宙……それは人類に残された最後の開拓地。人類は、世界最高水準の英知をあつめ、この未知なる世界への挑戦を続けてきました。科学のチカラで全てを解決できそうな現在、科学者たちは、思いもかけない難問に頭を抱えていました。宇宙空間に「快適なトイレ」を作るには、どうすれば良いのか？意外と知らない宇宙トイレの秘密に迫るユニークな絵本。長年にわたる研究と新しいアイデアのおかげで、今ではどこへ行っても安心してウンチができる！

おいしいお米をつくりたい！ ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました

著者名:谷本 雄治
 出版者:汐文社

課題図書中学年

「ゆうちゃん」こと新宅佑輔くんは、農家の中井知広さんがつくるお米が大好き！「ほくもつくりたい！」と小学2年生で弟子入りし、田んぼを借りて米づくりを始めた。おそいかかる台風、害虫、雑草…。少年の熱い思いは、天にとどくのか？！完全無農薬・天日干しにこだわるゆうちゃんの挑戦と地域の人々との交流を描く、感動の食農ノンフィクション。

ミシュカ

著者名:エドワルト・ファン・デ・フェンデル
 出版者:静山社

課題図書高学年

「わたしの名前はロヤで、9歳だよ。生まれたのはアフガニスタン」ロヤはウサギのミシュカに語りかけます。難民になった家族がようやく新しい国で見つけた幸せ。聞いてほしかったのは、知ってほしかったのは、そう、ロヤたちの長い長い旅の物語でした。

リト！

著者名:イノウエミホコ
 出版者:文研出版

課題図書高学年

「理人、最後に伝えておきます」祖母の節さんがほくに託した、中身のわからない封筒。節さんが伝えたかったことは何？そもそも、節さんってどんな人だった？疑問を抱えながら、ほくは「苦手なあいつ」とドイツへ向かうことになった。光あふれる異国のクリスマスマーケットで、ほくが得たものは……。